

特集
Special feature

地域の魅力発信ステーション

Local charm dispatch station [後編]

「道の駅たかの」 グランドオープン!

「道の駅たかの」が4月12日、多くの市民や関係者の期待を乗せて、グランドオープンしました。広島県で17番目の道の駅として昨年9月14日に登録。松江自動車道(中国横断自動車道尾道松江線)高野インターチェンジから直結し、県道39号線が交わる場所に立地。庄原市の北の玄関口の顔、地域活性化の拠点として、今後の庄原市発展の鍵を握るこの施設をご紹介します。



りんごをイメージした概観。



情報コーナー

常駐の観光コンシェルジュが道の駅や市内の観光情報をご案内。

観光コンシェルジュ
檀上 理恵 さん

私が「道の駅たかの」をご案内します。市内の観光情報やイベント情報もお任せください。



わいわい wai wai kougen ichiba 高原市場

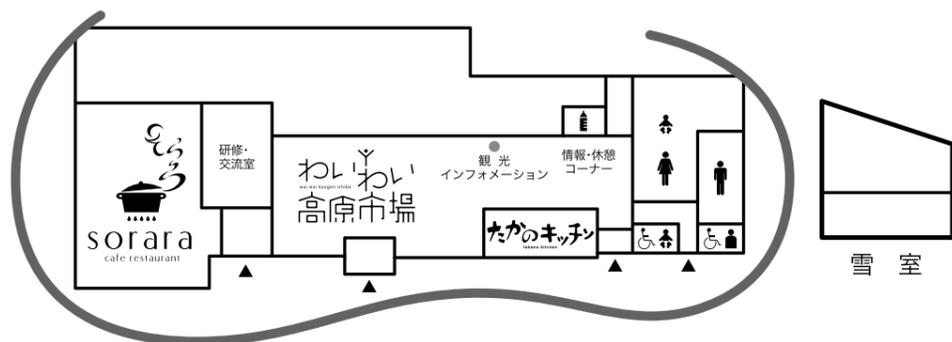


テープカット、式典

グランドオープンを待ちわびた多くの人であふれる店内。オープン初日から3日間限定で用意していた雪室貯蔵の「雪ん子りんご」は、3日間とも2時間足らずであっという間に完売。そのほかの商品も飛ぶように売れた。



道の駅たかの見取り図



トイレ



充実した多機能トイレ。女性トイレにはパウダールームが備えてある。

オープン以来、多くのお客さまにお立ち寄りいただいております。心から感謝申し上げます。私たちは3つの柱で前進します。一つ目は「真心ブランド」。生産者の思いが伝わり、おききの真心の逸品をお届けします。二つ目は「笑顔のふれあい」。常に笑顔でお客さまをお迎えし、笑顔が出会い、集い、交わり、また来なくなる心地よい場を提供します。そして三つ目は「まちの元気印」。ここに集まる人たちの活力で道の駅を、そしてまちを元気にしたい。感謝の気持ちを常に持ち、皆さんに親しまれ愛される道の駅を目指します。

「真心ブランド」
「笑顔のふれあい」
「まちの元気印」宣言



道の駅たかの駅長
松島 義治 さん
(指定管理者 株式会社緑の村代表取締役)



口和モーター物産館 道の駅リストア・ステーション 道の駅たかの 道の駅遊YOUさろん東城 食彩館しょうばらゆめさくら

情報共有で魅力発信

市内の5つの施設をつなげる

仕掛け
01

デジタルサイネージ

市内の観光情報などをお知らせする、タッチパネル式サイネージ端末による情報提供システムを導入しています。この端末は、スマートフォンやタブレット端末などと同様に、画面に直接指で触れて操作し、市内各地の観光情報、旬の情報やイベント情報などすぐに知りたい情報が得られます。現在は、遊YOUさろん東城とリストア・ステーションを除く施設に導入されており、この2施設についても7月以降に導入される予定です。



仕掛け
02

しょうばら道の駅スタンプラリー

市内の5施設を巡りスタンプを集めて応募すると、抽選で庄原市の特産品が当たるスタンプラリーを開催中。全施設のスタンプを集めるコースは庄原市の特産品の詰め合わせ、スタンプ3個以上集めるコースでは、各施設からのおすすめの特産品が当たります。7月14日(日)まで開催されていますので、ぜひ皆さんご応募ください。



連携による魅力と入り込み客アップを目指す

市内にある5つの施設はそれぞれ地域の拠点施設として魅力ある経営を行っています。薄く、完全に点在する形になっています。そこには、施設同士の距離が離れていて、接続ルートもなかなかつながりにくいという地理的要因があることは確かです。しかし、それぞれの入り込み客を回遊させることができれば、市内に滞在していただける時間も増え、観光消費額の上昇が期待できます。点になっているこれらの施設を線になるようにつなげ、さらに面にして入り込み客を市全域で集客する方が必要です。そのためには、まずは情報を共有すること。そして、お互いの魅力を相互に売り込んだりPRしたりするなど、連携、協力が不可欠です。協議会では、そのための協議検討を進めていきます。

松江自動車道開通によって市内観光産業への追い風が吹き始めました。協議会だけでなく、庄原市観光協会や備北観光ネットワークなどのネットワークをつくりながら、一体的な発展を目指して行きます。



庄原市道の駅等連絡協議会 会長
古家 初巳 さん
(株式会社ニュー東城 代表取締役)



プレートランチ。
3種類のメイン料理の中から選べる。

地元産にこだわった食材をふんだんに使った料理が味わえる。約70席あり、外の景色を眺めながらゆっくりとカフェタイムが楽しめる。



カフェレストラン「そらら」料理長
新井 逢英 さん

ここでは採れたての農産物を農家の方から直接仕入れることができ、私が思い描く料理を提供できると考えています。こだわり農産物をうまく組み合わせながら、この土地だからこそ創作できるメニューを提供していきたいと思っています。都市部のお客さまを意識し、ここでしか味わえないもの、常に新しいメニューを創作し、何度も足を運んでいただけるレストランを目指します。

雪合戦応援自販機



高野といえば雪合戦。これを応援する自販機が道の駅のどこかに。この売り上げの一部が広島県雪合戦大会の運営費に充てられる。

雪室体験室



中国地方唯一の天然雪を活用した低温貯蔵施設「雪室」。室内は気温0度、湿度100%近くに保たれ、貯蔵したお酒は味がまるやかにになるといわれ、秋に収穫した農産物も長期保存が可能。ここで貯蔵した商品はわいわい高原市場で販売されている。施設内を見学することができる。

たかのキッチン

高野米を使ったおにぎり、うどんやそばなどの軽食が楽しめる。地元の牛乳や果物を使ったジェラートがおすすめ。



道の駅 たかの

週末を中心に多くのお客さまにご利用いただく中、大きなトラブルもなく幸先よいスタートが切れましたが、オープンから約1カ月が経ち、ここから本場の意味でのスタートだと思っております。この道の駅が目的の地になるように、さまざまなことを仕掛けていきたいと思います。沿線には口和モーター物産館、雲南吉田インターチェンジ付近には「たらば壱番地」という施設もでき、競合するという見方もありますが、それぞれ違った特徴やコンセプトを持った施設なので、相乗効果が期待できると思っています。それぞれの施設が切磋琢磨し、施設情報・観光情報などを共有しながら、お互いに向上していければと思います。

Interview
井上 啓 さん
総務企画部マネージャー

高野町下門田49 時 わいわい高原市場: 9時~18時・カフェレストラン「そらら」: 11時~17時
☎ 0824-86-3131 フードコーナー「たかのキッチン」: 9時~18時・情報・休憩コーナー: 9時~18時 定休日: 水曜日・年末年始